

滋賀県立虎姫高等学校

活動テーマ

ヨシの利活用と水資源の持続可能性を考える

実践事例について

世界的に二酸化炭素の排出量が問題視される中、本校の生徒会ではマニフェストに SDGs が掲げられた。全校生徒に SDGs について知ってもらうきっかけを作るため、学園祭における環境の負荷をできる限り減らす取り組みを行なった。主な内容として学園祭の生徒会模擬店で使うお皿を、琵琶湖のヨシの繊維のみから生分解性のある使い捨て紙皿を製作することで、可燃ごみを減らし、洗い物削減によって水の節水につなげた。また、使用後の皿を土に埋め、その土壤に植樹を行い、二酸化炭素の排出を実質0にするというものであった。さらに活動の幅を広げるために、地域や企業と連携し取り組んだ内容を報告する。

【1. 活動概要】

テーマ達成に向けて、本校ではプロジェクト名を「虎姫高校リード琵琶プロジェクト」と名付け、生徒会のプロジェクトメンバーに有志の生徒を合わせた計15人で活動を始めた。本活動は次のスケジュールで進んでいる。

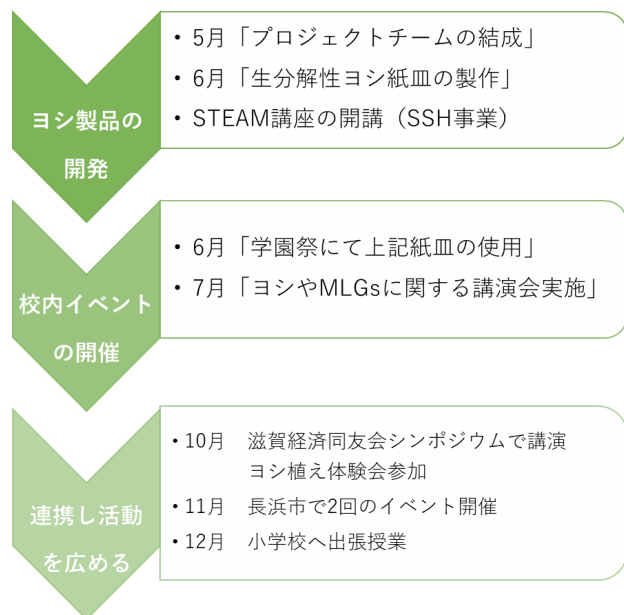


図1 プロジェクトスケジュールの概要

これら取り組みは3つの柱をコンセプトに活動しており、「①琵琶湖の保全」「②質の高い教育を市民へ」「③ヨシを観光資源に」である。これら柱をベースに、生徒自身が活動内容を考え、企画書作成・先方との調整・集客・企画運営を担っている。

【2. 活動詳細】

(ア) 学園祭にむけて

(プロジェクトリーダー: MT)

学園祭の使い捨て紙皿を、琵琶湖のヨシから製作した。ヨシは大阪万博パビリオン用ヨシの切れ端を活用し、ヨシネットワークや NPO 法人まるよしと連携しながら開発に取り組んだ(開発した紙皿をヨシ皿と呼ぶ)。ヨシ皿はヨシ 100%で出来ており、生分解性で土壤に埋めて処分できる。分解性と土壤の変容は引き続き調査中である。当日は150食分を提供した。このヨシ皿を作るワークショップをSTEAM講座(SSH事業の一つ)として開催し、全校生徒から希望の生徒を募って製作した。また、製作だけにとどまらず、ヨシの利活用のメリットや琵琶湖の生態系に関する講義を行うなど、全校生徒の意識向上に努めた。

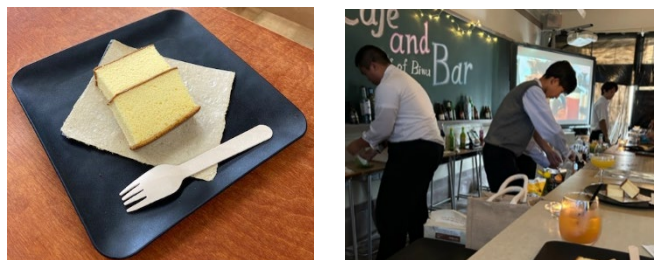


図1 学園祭で用いた紙皿と当日の様子

生徒の楽しむ・わくわく感を持つことを大切にしながら、学びを取り入れることで主体的に行動できたと感じる。

(イ) 校内での企画立案と実施

(プロジェクトリーダー：IO)

校内での活動は主に、紙漉き体験会・外部講師を招いての講演会・ヨシ植え・ヨシ狩りなどである。

- 5/8 ヨシネットワーク鳥飼さんによる紙漉き講座
- 6/17 STAEM 講座紙漉き体験会実施
- 7/12 NPO 法人まるよしによる講演会実施
- 10/6 ヨシ植え体験
- 2月 ヨシ刈り体験会の実施 (予定)



※ヨシ植え体験の様子 ※講演会の様子

(ウ) 滋賀経済同友会シンポジウムでの講演

(プロジェクトリーダー：MT と NR)

10月31日には滋賀経済同友会シンポジウムにゲストスピーカーとして参加した。フェリーで大津港から長浜港まで乗船し、大学の先生の講義等を聞きながら経済界に環境意識の向上を図る取り組みだ。我々の取り組みが貢献できたと感じる。

(エ) 長浜市で2回のイベント実施

(プロジェクトリーダー：①GN ②NR)

7月には「いいね！長浜会議」を設定し、市長と座談会を行った。本プロジェクトを紹介せらうと、次の2つのイベントへ参加することとなった。

(1)長浜ものづくり TECH 2024



(2)ながはまコミュニティカレッジ学園祭

この企画は市民が市民にむけて、講座を開く。この企画ではローカルサーキュラーエコノミーの重要性について、理解を促進する内容とした。



【3. 成果と課題・今後の展望】

この活動における最大の成果は、リード琵琶プロジェクトを進めるうえで、多くの連携をとれたことである。下記のような広がりを見せ、多方面で活動を行うことができた。

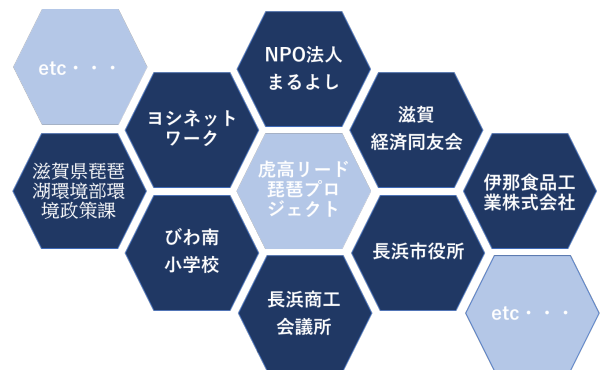


図2 連携を行ってきた外部団体や企業など

また、いくつかのコンテストに応募し、受賞した賞を紹介させていただく。

- ・高校生 SDGs/サステナビリティコンテスト銅賞
- ・エシカル甲子園 徳島県知事賞
- ・全国ユース環境発表大会 (近畿) 地域貢献賞
- ・SDGs デザインインターナショナルアワード 2024 高校生特別賞受賞

課題については、どのように継続し、校内の仕組みに取り入れていけるかを考える必要がある。現在、本校では探究活動の在り方や中身の大きな変遷期である。探究活動が生徒にとって、主体的かつ学びのある中身で活動できるコンテンツになるよう本ケースが様々な場所で参考になれば幸いである。今後の展望として、ヨシ皿を民間で使用していただき、活動の認知度を上げることで、活動の量を増やしたいと考える。加えて、ヨシ紙の活用幅を広げ、新たな製品の開発にも取り組んでいきたいと考えている。

学校名	滋賀県立虎姫高等学校
住所	長浜市宮部町2410
電話番号	0749-73-3055
E-mail	sugiyama-masataka-9670@pref-shiga.ed.jp

